

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会
連絡会事務局発行

学校、減らしすぎじゃないですか？

～10/8要請行動から

森代表：夜間定時制高校が半減となる。これから高校に入る生徒の思いを聞いてほしい。

都（自己紹介）：出席者は初宿（しあけ）改革推進担当課長。定時制担当高橋副参事。係長大屋、軽部、の4人である。では、以前にいただいた要請書の8点についてお答えしたい。

- ①（八王子地区があふれていることについて）八王子拓真の一昨年度の倍率は、前期が4・13倍、後期が2・29倍。昨年度が、前期1・98倍、後期1・48倍であった。これは、全日制への志願変更を可能にしたことや、各市教委に、拓真は定時制であることなどの徹底をはかったことにもよる。今年度も徹底をはかる。八王子地区での募集枠の拡大は考えていない。
- ②（不合格者の追跡調査について）プライバシーに関わる問題なので調査はできない。ちなみに、昨年度の進路状況調査で、在家庭者のうち進学希望者は（一昨年度の）124人から106人に下がった。
- ③（チャレンジ高校は高倍率で、「再チャレンジ」の思いに応えていないのでは？夜間定時のPRを）不登校の生徒はチャレンジだけでなく、他の校種（チャレンジ以外）でも受け入れている。不登校に関しては抜本的な対応が必要。不登校生徒を増やさないために、カウンセラーの配置や、区市町村との連絡協議会などの対応をしている。定時制のPRに関しては、定時制・通信制に関する入学案内を作成している。また、都立高校合同説明会でも定時制の相談窓口を設けている。
- ④（武蔵定時制の移転に関して）移転を理由にやめた生徒はいないと把握している。他の学校にも協力を求めている。荻窪では食事が二つの時間に別れている。問題はない。
- ⑤（改革推進計画の評価と総括を）推進計画に対して、H19年度の意識調査で70.5%の理解を得ている。都教委として一定の時期に総括しなければと考えている。しかしまだ卒業生を出していない所もあるので、さらに総括を行っていく。

- ⑥ (広域通信制の把握は?) 都内に本校を置いているのは9校あると把握している。私立についての所管は都教委ではないので詳しくは分からない。広域通信制に進んだ者はH18年度803名、H19年度685名と把握している。
- ⑦ (デリバリーの試行をやめて自校方式の給食を) 2年の試行をしてきたが、食中毒などの大きな不都合はなかった。試行校からの細かい要望には応えてきた。今後については試行をふまえて検討中である。
- ⑧ (定時制振興策を) 3年で卒業できるとか転学しやすくするなど、多様なニーズに答えてきた。今後も授業改善などを進めていく。



守: 広域通信制について、地方に本校があるところは含まれていない?

都: 分校は入ってない。

守: 都民の意識調査で7割が計画に賛成と言うが、調査はどう行われたのか?

都: 五年ごとにやっている調査だ。賛成・おおむね賛成を合わせると7割が肯定的。

守: 当該の生徒や先生に聞いたのではないのですよね? それ以外の人に聞いてもどうかと思う。当該の人には直接聞かないのか。

都: 学校からはいろいろ聞いている。連絡協議会からも。それ以外にも広く聞かせていただくということで都民から聞いた。

守: 3月に中学を卒業して、家庭の事情で定時に行こうと思ったが、仕事の関係で定時もあきらめたという子がいる。願書も出せなかった。近くに定時制高校がなかったから。中学では把握しているはず。つかんでいるか。

都: そういう例までは把握していない。願書が出せなかったというが、相談コーナーもあるので、早めに相談していただければ・・・これから区市町村を回るの具体的な例を聞いていきたい。

守: 今例に挙げたような子たちにも日が当たるような、弱者に暖かい対応が欲しい。まだ55校ある、三部制もあるからいいじゃないか、ではなくて。

守: 私は不登校の会で活動している親だが、チャレンジの倍率高いのよね、というお母さんの話をよく聞く。「普通の不登校の子」は入れない。不登校の子が塾に行かなくてはいけない・・・これっておかしいでしょ? 本当にチャレンジできる学校を作ってほしい。私立もあるけど経済的に難しい。不景気の中で夜間定時にいく子が増えるのでは? 新しい学校にももっと力を入れてほしい。子どもが高校に行く気になっても、入れるのかなという不安がつかまとう。

守: 私たちは新しい高校を否定していない。しかし、チャレンジに入るには特別な指導が必要。適応指導教室では、面接指導とか作文指導などを行っているようだが、適応指導教室から入ってくる生徒はどれくらいいるのか。

都: 選抜については担当ではないので・・・。チャレンジは作文、面接での選抜を行っている。

皆さんの意見は担当にきちんと伝える。本来の学校の位置づけと現状の検証をしていく。

守：教育センターの相談員をしている。八王子地区と中央線沿線、は定時を減らしすぎ、と感じる。相談に来るお母さん達が困っている。去年も今年も八王子拓真を受ける子が多かった。多少の倍率は仕方ないのかもしれないが、この倍率は高すぎる。チャレンジや三部制を落ちたら夜間定時に行けばいいとは言えない。周りの夜間定時制が遠すぎる。学校減らしすぎじゃないですか。

都：生徒の枠は確保した。でも新しい学校はどうしても人気が高くなる。この学校はこういう学校だという説明を続けているので、拓真の倍率も若干下がったと思う。

多くの夜間定時制は定員超過！

守：多摩地区の夜間定時制はほとんど定員超過。中央線で言えば、江戸川の次は多摩地区の立川しかない。落ちたら行くところがない。二次募集であふれるので三次はない。こういう事態が数年続いている。チャレンジが全日制の就学計画に入っている。夜間定時制を統廃合するけれども、チャレンジを作るから枠は確保すると言ったことと矛盾する。夜間定時は八王子に一校もない。立川定はいつもあふれる。全体として倍率が下がったというけど、子どもたちがあきらめた結果でしかない。

都：定時制の充実は大切。枠は確保した。ただ、生徒にこの学校に行けとは言えないし・・・

守：中学生がどこかの高校に入りたいということで、夜間にもチャレンジにも来る。チャレンジがすべて定時の枠に入ったら、定のパイがもっと増えるはず。あと、新しい学校に対する都の評価は倍率の高さによる、と思っていたが、その方針を変えたのか？

都：何で評価するか、というのと倍率はひとつの要素としてある。しかし、それがすべての評価ではない。例えば八王子桑志高校では連絡協議会で意見交換し、皆さんにアンケートを取って学校評価をしている。そういう学校の中の実態を見て私どもは評価している。

守：武蔵定時制で教えていたものだが、武蔵には田無からとかひばりヶ丘からとか広い地域から来ていた。それが中央線にのってまた行くのだから大変。新たに定時に行こうと思っても近くにない。中学の先生が指導しようにも行く学校がない。私立には高くて行けない。中身を良くすることも大切だが、夜間高校を復活するなどの施策をぜひ。フリーターしながら頑張っている卒業生も多く知っている。定時制に行って勉強の楽しさを知った人も多い。

守：新しいタイプがどうか、だけではなく、夜間定時はどうだったかの総括をして欲しい。推進計画が出来た頃と状況が大きく変わっているし。どこにも行けなくても夜間があるよというセーフティネットではなくなっている。一クラスに30人が目一杯いると大変。指導が荒くなる、と聞いている。

都：総括しないわけではない。一定の時期にはやる。今後やっていく。皆様方の意見も受け止



めていく。

守：親の会のものだが、中学校3年で進路に悩む親が多い。東久留米では、ある不登校の生徒が、適応指導教室に行けるようになった。稔丘の昼間を受けようかと言ってきた。東久留米総合の定を進めたが、チャレンジを受けてみたいと言う。しかし先生には、稔丘に落ちたら東久留米総合定は二次では倍率が出ると言われた。高くてムリかもしれないと言われた。その子のお母さんに何と言って慰めたらいいのか・・・。私立には行けない経済状態だし。

都：確かに東久留米総合定は二次では二倍を超えた。認識している。思い付きでは言えない。

守：今までは夜間が救っていた。しかし今は夜間定時制は一次で受けないと入るのが難しい。二次で多く落ちている。定員より多めに取っているのにもかかわらず。何とかできないのか。

都：そういう課題はある。就学計画も検証している。私立とも受け入れ数を調整している。計画数に満たない実績なので、私立に計画分をきちんと受け入れてほしいと要請もしている。

守：夜間定時制の統廃合に当たって、チャレンジを作ることで枠は確保したと言いつつ、三部制は全日の就学計画に入っている。これは直さないのか

都：直っていない。あらためて認識した。課題として検討していく。

守：公私協の問題はずっとある。今だけの問題ではない。

デリバリーで食中毒がなかったからいいの？

守：定時制に通う子の親である。給食のことだが、何でデリバリーなのか。栄養面を考えたら自校方式が良い。レンジでチンして食べさせる家庭も増えているのだから、ぜひ自校方式で。「食育」と都がおっしゃるなら、なおさらのことしっかり食べさせてほしい。デリバリーで食中毒がなかったとおっしゃったが、そういう問題ではないでしょう。「何考えてるの？」と誤ってしまう。デリバリーを敵視はしないが、成長期の子どもにこれで良いのか？まずは自校で。皆さんの意見をぜひ受けとめてほしい。

都：食中毒がないから良いと思っているわけではない。誤解のないよう。現状をじっくり見て、個々に対応している。試行をふまえながら検討している。

守：デリバリーを召し上がった事あるんですか？揚げ物なんかべちゃっとしてひどい。毎日そうならわびしい。味気ない。

守：デリバリーは会社が作りますよね。利潤追求になり素材が心配になる。今だって食材が社会問題になっているのに・・・。改革推進計画が実行されて、ホントに良いことあったの？と言う気がする。チャレンジはチャレンジとして改善してほしいが、夜間定も復活をぜひ。

守：相談員をしていると奨学金の相談がけっこう多い。貧困層が増えている。学費払えない。奨学金を探すことになる。でも、地方自治体で奨学金の保証人になるには年金生活者だめと言われる。夜間定時が今こそ必要。安いし。東京都の職員の方が、東京の教育の宝だった夜間定時制を元の数に戻してほしい。

森代表：夜間定時制の振興についてよろしくお願いします。セーフティネットが社会の重要な存在になっていると思います。